

実は、暮らしのすぐそばにあります。世界自然遺産。

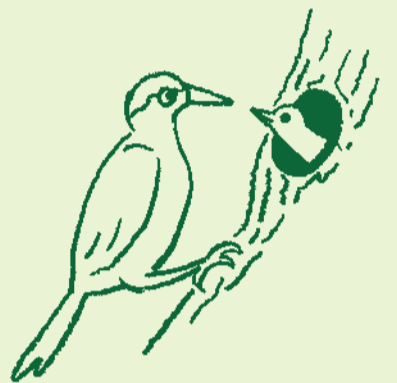
世界自然遺産 やんばるに来たなら、緑深き、山の奥へ行かねば！  
と思っているなら、ちょっとお待ちください。  
やんばるが世界自然遺産に登録されたキーワードは「多様性」。その様子は、暮らしのすぐそばや公園などで感じる事ができます。駐車場に絶滅危惧種の花が咲いている、なんてことはやんばるでは珍しいことではありません。  
山裾の、人の暮らしがある場所こそ、世界自然遺産に最も触れやすい場所かもしれません。

- 1村を訪ねて「木」と出会い、
- 2村を歩いて「林」を感じ、
- 3村を巡って、やんばるの「森」を味わう。

ようこそ、世界自然遺産やんばるの森へ。

東村

フィールド全体で博物館。



世界中でやんばるにのみ棲息するノグチゲラをすぐそばで観察できる博物館?!「山と水の生活博物館」が、表通りではなく山のふもとに立つ理由を、学芸員のTさんはこう話す。

「ノグチゲラが人里近くで何十年も繁殖できる環境があるのはすばらしいこと。50年後も100年後も守っていきたい。その拠点として奥まったところに建てています。フィールド全体で博物館ですね」

東村で生まれ育ち、村民が生きた証として地域の資料をできるだけ集め残していきたいというTさんに、東村のいいところを聞いた。

ザトウクジラが観られる展望台、つつじエコパーク駐車場からの満天の星、外国のような福地ダムからの眺め、曇りでもきれいな青が見えるウップマビーチ、中道からの景色がいい「車」という集落…。「ウェルカム気質でチャレンジ精神をもつ人もいっぱいいます。農家が多いんですが民泊をされている方も一人の自然ガイドとして見えています」

ちなみに博物館でまず「いらっしゃい!」と迎えてくれるのは、リュウキュウイノシシのコンスケとイノスケ。「剥製で観察もできますが、実際に見ることも必要ということで生き物もたくさんいるんです」

大宜味村

海あり山あり滝あり。そして共同売店あり。



国頭村

やんばるは自然と暮らしが近い。

「ピックイー!」。渡り鳥・サシバが国頭村森林公園の上空を飛んでいる。本土ではサシバは人里離れたところへわざわざ見に行くもの。このような「沖縄では当たり前だけれどすごいこと」を数字で表すと、面積では日本のわずか0.1%の沖縄に、日本で棲息する生き物の4分の1がいる。鳥にいたっては、日本で見られる鳥の半数が沖縄に。300種類のうち、270種は渡り鳥で、旅の休憩地点にしている鳥も。「やんばるはいろんな鳥にとっても大事な場所なんです」と自然ガイドのKさんは言う。

森林公園は驚きに満ちていた。つがいで縄張りを守るヤンバルクイナと独身のクイナの声を聞き分けたり、蜘蛛の巣の経糸と横糸の神秘に触れたり、日本一種類が多いというカエルのうちハナサキガエルのかくれんぼぶりに感心したり、ドングリが澄んだおいしさだったり、いかにものんびり屋のシリケンイモリに遭遇したり…。

多様性は森にとどまらない。山と海のあいだには人の営みがあり、例えば食草の異なるさまざまなチョウ(準絶滅危惧種のコノハチョウなど)が棲み分けをしながら生きている。やんばるの人々が動植物と共生しながらつくってきた自然遺産は、目をこらし耳をすませば暮らしのすぐそばにあった。



沖縄生まれの「共同売店」は、普通の商店ではない。集落の人たちが共同で出資・運営しているお店であり、国頭村奥の共同店が発祥(明治39年)といわれる。経営難でその数を減らしている共同売店だが…。

おいしそうな地域の野菜や島豆腐、パン、土産物、籠などが、見やすいポップとともに並んでいる。なかでも集落産のハチミツは地元の人ばかりではなく地域外から買いに来る人も多いという。蜜源はシークワサー、ツワブキ、ニガナ、リュウキュウバライチゴ、アサグル(フカノキ)…。多種多様な植物の存在とそれを大切に思う人の存在を感じる。

主任として店に立つYさんは大宜味村生まれ。「この地域のものを入荷したら、区長に電話して部落放送を入れてもらうんですね。夏はマンゴーがすごかった。炊きたての黒糖(農薬・化学肥料不使用)が店頭で並び目も。村外から滝を見に来てここに寄る方は、七滝(拝所で神聖な場所)の水やカラキハの飴などを買っていかれますね。特産物もたくさんあります。お客さんどうし話をされているのを見るのが、私はすごく好きです」

人と人、人と自然の接点になる場所を大事にする暮らし。大宜味が長寿村といわれるゆえんのひとつが共同売店にあった。

※ハチミツの蜜源は時期によって異なるため味も変わる。



**国頭村観光協会 (道の駅 ゆいゆい国頭)**  
 905-1412 沖縄県国頭郡国頭村字奥間1569-1  
 tel. 0980-41-2420 <https://kunikami-kanko.com>  
 受付時間 8:30~17:00 (元日休み) ※2022年3月現在

一般社団法人-国頭村観光協会 <https://www.facebook.com/>  
 一般社団法人-国頭村観光協会-1711498422475681

**国頭スーパー**  
 さしみが買える。日用品がなんでも揃う。パーベキューの食材も注文できる。

**辺土名大通り商店街**  
 料理店、酒場、寿司屋、ピストロ、バー、ホテルなどが並ぶ沖縄最北の商店街。

**道の駅 ゆいゆい国頭**  
 お土産と食事処が充実。ちょっとした遊具もある。

沖縄に子育てにやってくるクジラを観たり、マリンスポーツをしたり。

**奥間ビーチ**  
 やんばる野生生物保護センター ウフギー自然館  
 与那覇岳登山口  
 奥間川  
 比地公民館  
 比地大滝・長尾橋  
 (比地川)

沖縄本島最北 (2022年春時点) のコンビニ。

**かいぎんフィールド**  
 定期的にスポーツキャンプがくる。

ここ以北にローソンはない。

**浜のヤンバルクイナ像**  
 やんばる酒造に行くなら右へ。

**芭蕉布会館**  
 喜如嘉の芭蕉布のInstagramを見てから訪ねるといいかも。@kijoka\_bashofu  
 糸芭蕉

**やんばる酒造**  
 蒸し米や泡盛の香りが漂う。

**笑味の店**  
 土や海とともに暮らすのリズムや生きる知恵を伝える料理。

**喜如嘉タープク**  
 山に囲まれた集落の中に広がるタープク (田んぼ)。4月はオクラレルカとエゴシブ。

**旧大宜味村役場庁舎**  
 戦火を免れた沖縄で最も古い鉄筋コンクリート建造物。

**大宜味村農村活性化センター**  
 「長寿の里」の地元食を買うなら。

**大宜味 シークワーサーパーク**  
 シークワーサーのことを知るならここ。スイーツがおいしい。

**平南橋の花笠**  
 ター滝に行くならここを右へ。

**ター滝 (平南川ター滝駐車場)**  
 遊歩道無し。自然のまま残された滝。生き物に近づける。腰まで川に浸かって最高に癒される。

**大宜味村観光協会 (道の駅 おおぎみ)**  
 やんばる各所のステキをご案内。  
 905-1318 沖縄県国頭郡大宜味村字津波95  
 tel. 0980-50-5707 <https://ogimi-kanko.com>  
 受付時間 9:00~17:00 (年中無休) ※2022年3月現在

ogimi\_kanko ogimi\_kanko  
 YouTube

**東村観光推進協議会 (東村ふれあいヒルギ公園)**  
 905-1205 沖縄県国頭郡東村字慶佐次54-1  
 tel. 0980-51-2655 <https://higashi-kanko.jp>  
 受付時間 9:00~17:00 (年末年始、お盆休み) ※2022年3月現在

higashikanko higashikanko  
 YouTube

**ふれあいヒルギ公園**  
 マングロープ (海水と淡水が混ざり合う汽水域) に生きる植物群を観察できる。

私たちはやんばるの世界自然遺産登録を誇りに思うと同時に、自らに警鐘を鳴らさねばとも考えています。なぜなら私たちは過去に、自然の恵みを、その回復力以上に求めたことがあるからです。自然と共生してきたやんばる三村の暮らし。ここには自然に踏み込み過ぎず、多様性に寄り添った暮らしのリズムがあります。私たちが守りたいのは絶滅危惧種や希少種だけではありません。自然と人が織りなす「多様性」こそを次世代につなげたいと思うのです。

**宮城島のデイゴ**  
 塩屋大橋の手前で出迎える一本のデイゴの木。4月に真っ赤な花が咲く。

**塩屋湾**  
 普段の静けさとウナギのときの活気が対照的。

2号線へはここから入る  
**国頭村 森林組合**  
 ヤンバル学びの森、ヤンバルクイナ生態施設はここを越えて。

**やんばる野生生物保護センター ウフギー自然館**  
 生き物やなかなか見られない書籍をゆっくり楽しめる。

**新与那トンネル**  
 ヤンバル学びの森、ヤンバルクイナ生態施設はここを右へ。

**国頭村 森林公園**  
 どんぐり拾いや木のおもちゃが楽しい。

**与那覇岳登山口**  
 やんばるにも城があった。

**喜如嘉共同店**  
 喜如嘉を守っている滝。

**大保ダム**  
 福地ダム

**慶佐次 ウッパマビーチ**  
 曇りでもきれいな青が見える。

**文化スポーツ記念館**  
 つつじエコパーク  
 ツツジ見るならここ。駐車場からは満天の星。

**道の駅 サンライズひがし**  
 パイナップルの特産品や食事を。

**福地川 海浜公園**

**結の浜公園**  
 子どもが遊べる大きな公園。

**塩屋交番**  
 牡蠣王の石碑

**石山展望台**  
 イタジの森で生きるものたちの暮らしを想像してみる。星見もここで。

**とんぎやキャンプ場**  
 ひとりが寂しい人はここでキャンプを。

**大石林山**  
 地球の雄大さを感じられる。  
 イルカダ

**辺戸岬観光案内所 HEAD LINE**  
 パノラマビューのカウンター席がある「ふしくぶカフェ」を併設。展望テラスも。

**ヤンバルクイナ 生態展示学習施設**  
 ヤンバルクイナと出会う。地元在住のガイドのお話しも楽しい。

**ヤンバルクイナ 展望台**  
 奥やんばるの里  
 沖縄本島北端にある沖縄古民家風コテージ。

**世界自然遺産 銅鑼湖**  
 ヤンバル学びの森、ヤンバルクイナ生態施設はここを右へ。

**新与那トンネル**  
 沖縄本島北部で最も森の中にある宿。

**道の駅 やんばる**  
 バイナップルの丘・安波

**山の駅 高江売店**  
 自然をモチーフにした雑貨や食品がそろった区運営の売店。建物横には山々を展望できる展望台がある。

**山と水の生活博物館**  
 ノグチゲラ生息地域に立つ博物館。イノシシやハブにも会える。

**つつじエコパーク**  
 ツツジ見るならここ。駐車場からは満天の星。

**サキシマスオウノキ**  
 大小15枚の板根が見事な流線型を見せる。沖縄県本島で最も大きい。

**ネクマチチ岳**  
 標高360.7mで大宜味村最高位の山。初心者から楽しめるトレッキングコースがある。コースによってはイギミハキンゾー (大宜味の猪垣) が見られる。

**石山展望台**  
 イタジの森で生きるものたちの暮らしを想像してみる。星見もここで。

**六田原展望台**  
 深い緑の山道を抜けると塩屋湾・東シナ海が広がる。

**塩屋交番**  
 牡蠣王の石碑

**とんぎやキャンプ場**  
 ひとりが寂しい人はここでキャンプを。

**とんぎやキャンプ場**  
 ひとりが寂しい人はここでキャンプを。

